サポート情報記事

# Discussions の通知のしくみ: サブスクリプション、メンション、Power Automate

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次


概要 4

**Web** パーツが行うこと 4

ボードまたはトピックのフォロー 4

メンション 5

**Discussions Subscriptions** リスト 5

フローが反応するイベント 7

誰が何を受け取るか 8

頻度 8

メール内のリンク 8

フローが行うべきこと 9

# 概要

Discussions は通知を 2 つの部分に分けています。**Web パーツ**は、誰が何について知りたいかを記録します。サブスクリプションの一覧を保持し、ユーザーが選んだ頻度でボードやトピックをフォローできるようにし、投稿でメンションされたユーザーをマークします。メールの**配信**は、サイト所有者が自分のテナントで実行する Power Automate フローに委ねられます。Web パーツ自身はメールを送信せず、`Mail.Send` アクセス許可やその他の Microsoft Graph アクセス許可を要求することもありません。フローが必要とするデータは、サイト上の通常の SharePoint リストにあります。

この記事では、このコントラクト、つまり Web パーツがリストで保証する内容と、フローがそれを使って行うべきことを説明します。

**警告**

バージョン 26.10.2 では、Power Automate のフロー テンプレートは提供されていません。Web パーツは以下に説明するとおりサブスクリプションとメンションを保存しますが、テナントにフローが存在するまでメールは送信されません。この記事のコントラクトは、そのようなフローを構築するための基盤です。インポート可能なテンプレートとその設定記事は、今後のリリースで提供する予定です。

# Web パーツが行うこと

## ボードまたはトピックのフォロー

投稿できるユーザー (サイトに対する **Add Items** (アイテムの追加) アクセス許可。Contribute と Edit に含まれます) には、ボードのコマンド バーと各トピックのヘッダーに **Follow** ボタンが表示されます。1 回クリックすると頻度 **Immediately** でフォローします。ボタンのドロップダウン部分には **Immediately**、**Daily digest**、**Weekly digest**、および **Unfollow** があります。フォロー中は、ボタンに **Following** と選択した頻度が表示されます。新しいトピックの作成者は、自動的に **Immediately** でそのトピックをサブスクライブします。読み取り専用の閲覧者はサブスクリプション リストに書き込めないため、ボタンは表示されません。




*頻度メニューを開いた Follow ボタン*

各フォローは、**Discussions Subscriptions** リストの 1 アイテムで、ユーザーと対象ごとに 1 つです。同じトピックを別の頻度で再度フォローすると、2 つ目を追加するのではなくアイテムが更新され、**Unfollow** でアイテムが削除されます。したがって、通知をオフにすることは自分のサブスクリプションを削除することを意味し、個別の「ミュート」フラグはありません。ユーザー ガイドは KB10404. 掲示板とトピックのフォロー: サブスクリプションとダイジェストの頻度 にあります。

## メンション

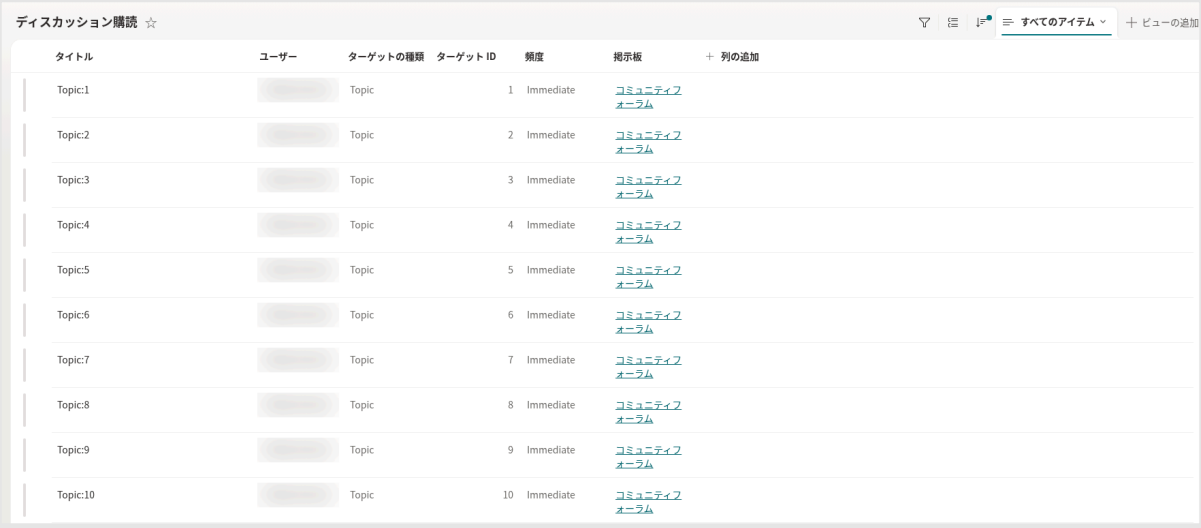
ユーザーがエディターで `@` を入力してユーザーを選択すると、Web パーツは投稿の本文に `<a href="mailto:…" data-mention-id="{siteUserId}">@名前</a>` という形式のリンクを挿入し、同時にそのユーザーをトピックまたは返信のユーザー列 **Mentions** に追加します。この列がフローに対するシグナルであり、誰がメンションされたかを知るために HTML を解析する必要はありません。メンションは投稿と一緒に編集でき、列は保存のたびに書き直されます。KB10403. Discussions での @メンションの使い方 を参照してください。

# Discussions Subscriptions リスト

| 列 | 内部名 | 値 |
|---|---|---|
| **User** | `VtxUser` | サブスクライバー (ユーザー列) |
| **Target type** | `VtxTargetType` | `Board` または `Topic` |
| **Target id** | `VtxTargetId` | **Discussions Boards** のボード アイテムの ID、または |

| 列 | 内部名 | 値 |
| --- | --- | --- |
| | | **Discussions Topics** のトピック アイテムの ID |
| **Frequency** | `VtxFrequency` | `Immediate`、`Daily`、`Weekly` のいずれか |
| **Board** | `VtxBoard` | ボードへの参照。トピックのサブスクリプションにも設定され、1 つのボードのすべてのサブスクリプションを 1 つのフィルターで読み取れるようにします |
| Title | `Title` | `Board:{id}` または `Topic:{id}`。リスト ビューでの読みやすさのため |

選択肢列の値はインターフェイス言語に関係なく英語で保存されます。列の表示名はリストを作成したユーザーの言語に従います。このリストはボードと同じサイトにあり、サイトのアクセス許可を継承するため、フォローには投稿権限が必要です。




*Discussions Subscriptions リスト*

## フローが反応するイベント

すべてのイベントは、2 つのコンテンツ リストの通常のアイテム イベントです。フローは標準の SharePoint トリガー *When an item is created* と *When an item is created or modified* を使用します。

| イベント | リスト | 条件 |
|---|---|---|
| 新しいトピック | **Discussions Topics** | **Approval status** = `Approved` でアイテムが作成された |
| モデレーターがトピックを承認 | **Discussions Topics** | アイテムが更新され、**Approval status** が `Approved` に変わった |
| 新しい返信 | **Discussions Posts** | **Approval status** = `Approved` でアイテムが作成された |
| 返信が承認された | **Discussions Posts** | アイテムが更新され、**Approval status** が `Approved` に変わった |
| ベスト アンサーが承認された | **Discussions Topics** | **Accepted post** が `0` から返信の ID に変わった |
| メンション | 両方のリスト | **Mentions** にユーザーが含まれる |
| アイテムがモデレーション待ち | 両方のリスト | **Approval status** = `Pending` でアイテムが作成された |

承認なしのボードでは、すべての新しいアイテムが `Approved` として作成されます。**Require approval of new posts** が有効なボードでは、メンバーのアイテムは `Pending` として作成され、モデレーターが承認すると `Approved` になります。これがサブスクライバーに通知すべきタイミングです。却下されたアイテムが通知を生成することはありません。

メモ

Web パーツは列 ID でリストを認識するため、サイト所有者はリストの名前を変更できます。したがって、フローはタイトルではなく **ID** (GUID) でリストを参照し、列の値は内部名 (`VtxApprovalStatus`、`VtxMentions`、...) で読み取る必要があります。

## 誰が何を受け取るか

コントラクトの受信者ルールは次のとおりです。

1 **新しいトピック** – ボードのサブスクライバー: **Target type** = `Board` かつ **Target id** = トピックの **Board** であるアイテム。
2 **新しい返信** – トピックのサブスクライバー (**Target type** = `Topic`、**Target id** = 返信の **Topic**) と、そのトピックのボードのサブスクライバー。返信の作成者は除外されます。
3 **ベスト アンサー** – 承認された返信の作成者とトピックのサブスクライバー。
4 **メンション** – アイテムの **Mentions** 列のユーザー。サブスクリプションやその頻度に関係なく通知されます。メンションされたユーザーがメンションをオフにすることはできません。
5 **モデレーション待ち** – ボードのモデレーターであるサイト所有者グループのメンバー。

## 頻度

- **Immediate** – トリガー *When an item is created or modified* を持つフローが、この頻度のサブスクライバーにイベントごとに 1 通のメールを送信します。
- **Daily** と **Weekly** – スケジュールされたフローが、**Last activity** が期間内にあるトピックを収集し、サブスクライバーごとに 1 通のサマリーを送信します。返信はそのトピックの **Last activity** を更新するため、トピックに基づいて作成したダイジェストは新しい返信も対象となります。

## メール内のリンク

トピックは、Discussions Web パーツをホストするページをクエリ パラメーター `?topic={Id}` 付きで開くことで表示されます。`{Id}` は **Discussions Topics** のアイテムの ID です。Web パーツは自身のページのアドレスをリストのどこにも保存し

ないため、ページのアドレスはフローのパラメーターになります。同じディープ リンクは Discussions Activity Web パーツでも使用され、KB10407. Discussions でトピックへのリンクを共有する (ディープ リンク) で説明しています。

## フローが行うべきこと

まとめると、このコントラクトに基づいて構築する配信フローは次のことを行います。

- サイト所有者またはテナントの共有メールボックスのコンテキストで実行します。送信者の ID は Vitextra のものではなく、お客様のものです。
- 上記の **Discussions Topics** と **Discussions Posts** のアイテム イベントを、リスト ID でトリガーします。
- **Board** (および **Target type / Target id**) でフィルターした **Discussions Subscriptions** を読み取って受信者を決定し、メンションされたユーザーについてはアイテムの **Mentions** 列を読み取ります。
- アイテムの作成者を除外し、サブスクライブとメンションの両方に該当するユーザーの重複を排除します。
- 自身のページ アドレス パラメーターとトピック ID からリンクを組み立てます。
- ダイジェストについては、スケジュールで実行し、トピックをサブスクライバーごとにグループ化します。

**ヒント**

サブスクリプションとメンションは単純なリスト データであるため、同じコントラクトはメール以外のチャネルにも使えます。フローから送信する Teams のチャット メッセージやアダプティブ カードも、同じ受信者と同じリンクを使用します。変わるのはフローの最後のアクションだけです。